

経営協議会議事録
(令和4年度第1回)

令和4年5月27日(金)
13時00分から15時05分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 相澤益男 伊藤真知子 小林裕明 里村正治 西海和久 萩原なつ子
長谷川真理子
飯塚 博 出口 毅 矢作 清 根本建二 花輪公雄 瀧瀬 晃 佐藤慎哉

列席者

副学長 林田光祐 大森 桂 羽鳥政男
監事 渡辺 均

欠席者

委員 鈴木道子 吉村美栄子

- 1 経営協議会議事録(3月16日開催)の確認
玉手学長から、本会議事録(3月16日開催)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】国立大学法人ガバナンス・コードへの対応について
花輪理事から、国立大学法人ガバナンス・コードに係る令和4年度の本学の対応について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・学長選考・監察会議学内委員の選出方法が学長指名のポジションに当て職になっていることについて、今後見直すことが重要である。
- ・民間企業では、社外取締役等の選任理由を公表している。学長選考・監察会議委員も同様に、透明性を上げていくべきである。
- ・学長選考・監察会議委員としては、次期学長候補者と接する機会が無く、現状は会議の範囲内で決めなければならないのが難しいところである。すぐに対応できるものではないが、そういった問題点があるということも意識して上手く運営していく必要がある。
- ・財務計画は、1つではなく公表しないものも含めて複数作るというスタンスで臨むと良いのではないか。

- 3 【協議】令和3年度決算について
根本理事から、令和3年度決算について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・有価証券が増えているが、今の経済状況を鑑みると、現段階で一度有価証券の内容を洗い直してみると良いのではないか。
- ・財務指標を作成するならば、山形大学としてどのレベルを目標とし、そこに向かって財務上どうやって攻めていくかという方針を出すべきである。
- ・財務に関する目標設定の際は、率にするか額にするかは深く議論すべきである。
- ・見た目上かもしれないが教育費・研究費比率が減っている。外部資金が減ったからなのか、関連性について分析すべきである。
- ・外部資金が減っていることについて、研究力が落ちているという実感があるとするならば、それ

を学内で共有すべきである。目標とのギャップを認識し、各研究者が自分はどういった役割を果たすかを意識する必要がある。

- ・外部資金の申請について、学内の専門機関でトレーニングのようなかたちで基礎的なところを作成し、その後外部に出すというように、段階的にやっている大学もある。
- ・教育に、社会貢献に、と大学に求められる役割が増えている中で、山形大学の教職員のモチベーションが上がる状況になっているのか。
- ・首都圏の大学からは出てこない「山形だからこそ」の視点とは何か、もう1回考えてみてはどうか。
- ・地域の中核となる大学振興パッケージなどで大学として地域の大きな目標に沿うことを目指すと、純粋に興味からくる個人的研究は取りにくくなってしまいが、将来にとってはどちらも必要である。

4 【協議】令和5年度概算要求（施設整備関係）について

額縁理事から、令和5年度概算要求を行う施設整備関係事業の事項について審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・古くなったから直すという発想ではなく、どうキャンパスをコモンス化するかを描くべきである。
- ・これからの地域社会を支える発想が山形から出てきたと思われるような内容にすべき。「老朽改善に伴う安心安全の確保と機能向上」という視点は変えるべきなのではないか。
- ・体育館の改修についても、教育・健康・福祉のなかでの社会教育という視点につなげ、Well-beingを進めていくために非常に重要だという方向性を示してはどうか。
- ・概算要求方針について、「イノベーション・コモンスへとつながる」ではなくて、「イノベーション・コモンスを創生するために」と目標を明確にする記述に見直してはどうか。
- ・鶴岡キャンパスのスマートテロワールなど、もう既にも実施されていることがある。それらを施設整備によってさらに進める・見える化することがとても重要である。ぜひコモンスにまで高めていただきたい。

5 【協議】令和4年度施設営繕費予定事業について

額縁理事から、令和4年度の施設営繕費（学内予算による営繕施設整備）にて予定する事業について審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・カーボンニュートラルという言葉の定義は人によって異なるため、山形大学はどのような定義にするかを定めるべきである。
- ・COP26の2050年までに温室効果ガスをゼロにするという難しい目標がある。2050年が目安として示されているので、そこに向かってどうゼロにしていくかという計画があるといいのではないか。
- ・カーボンニュートラルに関して出来ることがあまり無いと考えるかもしれないが、根は小さいけど展開すると様々な効果を生むということがある。農学部の演習林でカーボンニュートラルに関する山形大学モデルを展開するなど、大学として出来ることを検討してみてはどうか。

6 【報告】令和4年度施設費交付金営繕事業について

玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。

7 【報告】第4期中期目標・中期計画について

玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・将来ビジョンについて、山形ならではの課題を盛り込み、可視化して発信してほしい。

- 8 【報告】令和3年度資金運用状況について
根本理事から、議題に関して、報告があった。
- 9 【報告】令和3事業年度における長期借入金の償還状況について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 10 【報告】就職決定状況（令和3年度最終）について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 11 【報告】令和4年度入学試験実施状況について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。

次回は、令和4年6月27日（月）に開催することとなった。